

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	豊田上野地区	令和3年3月25日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	22.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	16.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	8.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	4.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・高齢化が進行しているが、後継者が不足していること。・農作物の販売先の新規開拓に苦慮していること。・広くて平坦な農地が少ないため、効率的な耕作や、他地域の担い手への耕作委託が困難なこと。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用は、認定農業者1経営体、認定新規就農者1経営体、基本構想水準到達者2経営体を中心となって担っていく。
入作を希望する認定農業者等の受入れを促進するため、耕地整理も視野に入れた農地の整備や、コーディネーター役の育成を行っていく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	水稲、野菜	0.9 ha	水稲、野菜	0.9 ha	
到達	B	水稲、野菜	1.3 ha	水稲、野菜	1.3 ha	
到達	C	水稲、野菜	0.5 ha	水稲、野菜	0.5 ha	
認就	D	野菜	0.2 ha	水稲、野菜	3.2 ha	
計	4人		2.9 ha		5.9 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針 (任意記載事項)

<p>基盤整備への取組方針 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大規格化や平坦化等の基盤整備を視野に入れた検討を行う。</p>
<p>新規作物の導入方針 既存の水稲、野菜（トマトなど）、特産物（上野大根）のほか、収益性の高い作物（人参、じゃがいもなど）の生産の取り組みを検討する。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 地域で有害鳥獣侵入防止ネットを設置し、農作物の保護に取り組む。</p>